



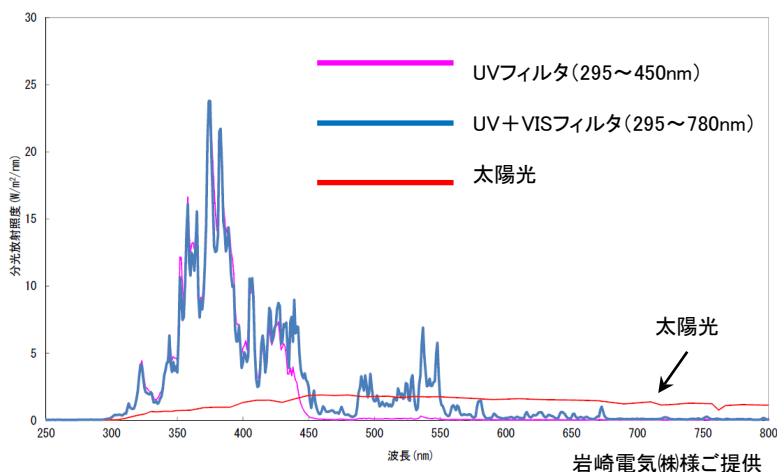
可視光対応メタルハライドランプ促進試験

最新JIS規格:「紫外光+可視光同時照射」による超促進耐候性試験を実施いたします。

メタルハライドランプ式促進耐候性試験(最新JIS対応)

- メタルハライドランプ式促進耐候性試験は擬似太陽光による耐候性試験の一つで、非常に大きな紫外線照度を持ち、一般的なサンシャインカーボン灯やキセノンアーク灯と比べて10倍以上の紫外線エネルギー(最大1500W/m²)により迅速に耐候性評価ができます。また、2021年にJIS規格としても標準化され、材料選定時のスクリーニングのみならず長寿命部材・製品の迅速評価への活用が期待されています。当社では、最新JIS規格:「紫外光+可視光同時照射」による試験に対応できるほか、試験後の物性評価(色差、光沢度、引張試験等)もお引き受けしています。

メタルハライドランプ 分光分布特性

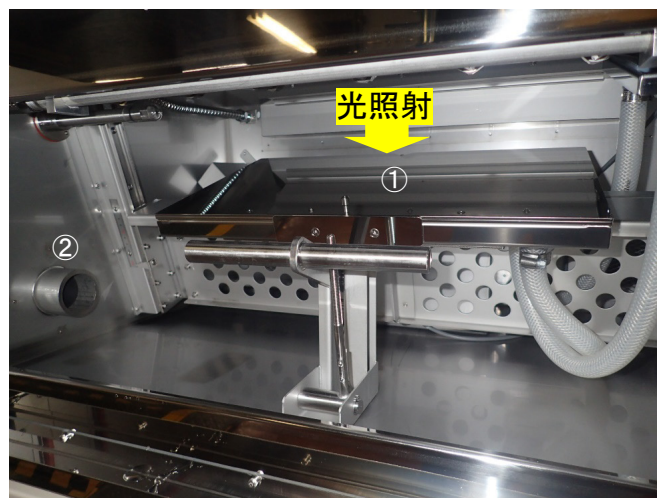


メタルハライドランプ試験機概要

メーカー・型式	岩崎電気製 SUV-W161-T05
照度 (JIS C1613基準) @300~400nm	750~1500W/m ²
光フィルタ (照射光波長)	UVフィルタ (295~450nm) UV+VISフィルタ (295~780nm)
試験モード	光照射、スプレー、結露、休止
ブラックパネル温度 相対湿度	50~85℃ 40~70%RH
照射有効面積 ワーク許容高さ	422mm×190mm 最大65mm
ワークへの通電配線	可能(ケーブル孔あり)
対応規格	日本試験機工業会 JTM-G01 日本塗料工業会サイクル 建具 JIS A1501 (2021年11月制定)

メタルハライドランプ式促進耐候性試験 特徴

- 一般的なサンシャインカーボン灯、キセノンランプ灯と比べて10倍以上の促進性があります。
- 従来法の紫外光単独照射のみならず、特殊フィルタ(UV+VISフィルタ)を用いて、より実環境を模した「紫外光+可視光同時照射」が可能です。
- ケーブル孔を有し、光照射中の通電&モニタリング計測もできます。
厚い試料(最大高さ65mm)にも対応できます。
- 色差、光沢度、引張試験など物性評価や劣化調査もご相談ください。



- ①試料台: 422mm×190mm(照射有効面積)
②ケーブル孔: φ50mm×1ヶ



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。